

私たちちは、人と自然を想う心を軸にDXへ挑戦します

私たちがDXを推進する理由——それは、単にデジタル化を進めるためではありません

「豊かな環境の創造」という基本方針のもと、
「持続可能な社会の実現に貢献し、地域と共に幸せや喜びを分かち合い、成長・発展し続ける組織を目指す」という将来像を掲げています。
地域の未来をリードしていくためには、建設業における働き方・プロセス・価値提供のあり方を進化させる必要があります。

デジタルの力を活用し、安全で効率的な現場をつくり、環境負荷を抑え、より豊かな地域を築いていく——
その実現こそが、当社がDXに取り組む根本的な理由です

Top Message

DXを手段に、誠実なものづくりをより強く、持続可能に
今、変革を現場から前へ

代表取締役 佐藤 敦



当社は、建設業を取り巻く環境が大きく変化するなかで、デジタルトランスフォーメーション（DX）を企業の持続的成長と社会的価値創出の中核と位置づけています。私たちが目指すのは、単なる業務のデジタル化ではなく、「人とデジタルが融合した新しい価値の創造」です。DXを通じて、価値提供を最大化し、社会とともに成長し続ける企業でありたいと考えています。

当社では、DX戦略を通じて「顧客中心のサービス提供」「業務プロセスの最適化・平準化」「セキュリティ体制を強化したデータドリブン経営」「従業員の成長とスキル向上」「持続可能な社会への貢献」という5つの価値を創造していきたいと考えています。

戦略に基づいた取り組みを通じて、現場力とデジタル力を融合させ、より高品質で信頼される建設サービスを提供してまいります。

また、DX推進の原動力は「人」です。社員一人ひとりがデジタル技術を理解し、活用できる力を持つことで、変化に強い組織文化が生まれます。当社では、階層別の研修制度や資格取得支援を整備し、次世代のデジタル人材を計画的に育成します。これにより、若手からベテランまでがDXを自分事として捉え、主体的に改善や提案に取り組む企業風土を育んでいます。

さらに、建設業としての社会的使命である「持続可能な地域づくり」にも力を入れています。環境負荷を低減するICT施工の推進、働き方改革によるワークライフバランスの実現、そして地域社会と連携した次世代育成活動など、DXを通じて人と地域と未来をつなぐ取り組みを継続してまいります。

私たちは、DXを“企業の進化”的手段としてだけでなく、“人を中心とした変革”的原動力として捉えています。これからも全社員が一丸となり、デジタルの力で建設業の新しい可能性を切り拓き、社会に必要とされる企業であり続けることをお約束します。

Fukuhama Vision

デジタルトランスフォーメーション（DX）を通じて顧客に対する
価値提供を最大化し持続可能な成長を実現することを目指します

Business Model

1

顧客中心のサービス提供

デジタル技術の活用・顧客ニーズの的確な把握により、企画・提案力や組織力で、パーソナライズしたサービスを提供します。これにより、顧客満足度を向上させ、長期的な関係を築きます。

「デジタルで広げる顧客価値共創」

- ・デジタルツイン^{*1}等の活用により、3Dモデルで施工前に関係者とビジュアル共有し、見える化によってイメージギャップの解消や共通認識を促進します。
- ・クラウド型のポータルを活用することで、進捗・品質・安全に関するリアルタイムな情報を共有します。

これらにより、顧客の要望を迅速に反映し、顧客満足度の向上と信頼関係の深化を図ります。

2

業務プロセスの最適化・平準化

業務のデジタル化を進め、効率的なプロセスを構築します。コスト削減・高品質・生産性向上を実現し、課題解決力を強化します。

「ICTで実現する現場効率化と標準化」

- ・クラウド会計・労務システム等を導入し、定型業務を効率化します。
- ・ICT建機や施工管理アプリ、ドローン測量を積極的に活用し、現場作業の効率化と品質の均一化を推進します。
- ・業務標準マニュアルをデジタル化し、ナレッジベースとして全社で共有することで、属人化を防ぎ、生産性と業務品質の向上を実現します。

「データの一元管理」

- ・各種データ（工事情報、業務データなど）を一元管理するためのデータベースやシステムを導入し、情報の整合性を保ちます。
- ・書類の電子管理や、申請・承認作業のデジタル化をし、業務の迅速化とペーパーレス化を実現することで、効率的な業務運営を遂行します。

3

セキュリティ体制を強化したデータドリブン^{*2}経営の推進

収集したデータを分析し、意思決定に活用することで、迅速かつ的確な経営判断を行います。データに基づく戦略的なアプローチを採用します。

「安心・安全なデータ活用経営」

- ・工事情報や設計・施工データを統合管理できるクラウド基盤を活用することでセキュリティを確保したうえで経営資源として活用します。
- ・アクセス権限管理やログ管理、ウイルス対策ソフトの利活用を徹底することで情報漏洩リスクを低減し、同時にデータ分析に基づく経営判断を可能とします。
- ・定期的なセキュリティ教育を実施し、従業員のセキュリティ意識とリテラシーを向上させます。

4

従業員の成長とスキル向上

従業員のスキル向上のための研修プログラムを実施し、全社員が変化に対応できる能力を持つ組織を目指します。

当社の施工ノウハウと現場マネジメント力を次世代へ継承するため、効果的な技術研修を実施し、DX推進にて効率化を図ることで社員の創造的な活動を推進します。

「人材育成によるデジタル人材の創出」

- ・従業員の成長とスキル向上を目的に、DX研修プログラムを体系的に整備し、ICT建機やBIM/CIMなど最新技術の習得を支援します。
- ・OJTによる教育体制を構築し、階層別に必要なスキルを段階的に習得できる環境を提供します。
- ・資格取得支援や外部セミナーへの参加を奨励し、若手社員をDX推進プロジェクトに積極的に参画させることで次世代のデジタル人材を育成し、新たな取り組みへのチャレンジを推進します。

5

持続可能な社会への貢献

環境に配慮したビジネスモデルを採用し、社会的責任を果たす企業としての役割を実行します。

持続可能な成長を追求し、建設産業全体の環境的利益に貢献します。

「DXで築く持続可能な社会と地域貢献」

- ・環境負荷低減に資するICT施工の推進や、再生資材・低炭素資材の利用促進により、持続可能な建設活動を展開します。
- ・DXを活用した業務効率化により長時間労働を是正し、働き方改革を推進します。
- ・地域社会と連携した建設体験イベントや教育活動を通じて次世代育成にも貢献し、地域とともに持続可能な社会を築きます。

このビジョンの実現に向け、全社員が一丸となって取り組みます。そして

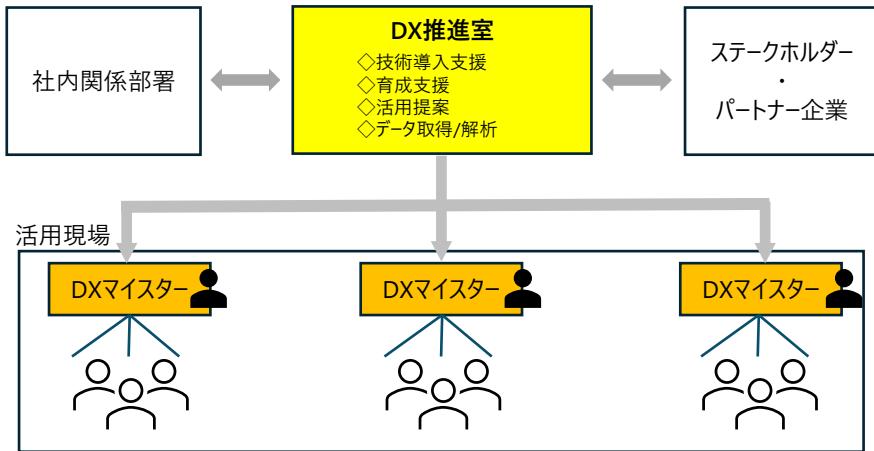
未来に向けた新たな価値を創造することで事業領域の拡大機会を追求するとともに、建設業全体の課題解決に貢献します。

* 1 物理空間にある情報をIoTなどで収集し、データをもとに仮想空間で再現する技術

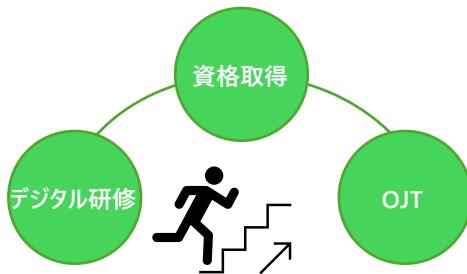
* 2 客観的なデータをもとに意思決定や施策を行う考え方や手法

DX推進体制

- 社内にDX推進室を設置し、施策を統括
- 各工事部にDX推進メンバーを配置し、DX推進室主導のもと現場実装を拡充
- 四半期ごとに経営層を交えた計画達成状況報告会を実施し、評価に基づいた再計画を立案



人材育成



- 対象社員向けデジタル技術研修プログラムの標準化
- OJTによる技術習得の体系化
- 資格取得をサポートし、スキルアップを支援

システム環境整備



福浜 DX戦略

Fukuhama DX

DX進捗の指標

- DX戦略の達成度を測るため、それぞれの戦略における目標を設定し、2年ごとに評価を行っていく。
※指標については定量指標のほか、達成度を判断できる定性指標も含む

1 顧客中心のサービス提供

- 顧客要求事項の実施件数および提案件数
- BIM/CIM・デジタルツイン活用案件数
- 工事情報ポータルアクセス件数の推移

2 業務プロセスの最適化・平準化

効率化・標準化

- ICT施工・システム実践率
- 現場測量での作業効率
- 平準化指標の電子共有

データ元管理

- 請求書・領収書における電子運用の促進
- ペーパーレス化達成度
- データベース活用率

3 セキュリティ体制を強化したデータドリブン経営の推進

- 情報セキュリティテストの受験率
- VPNの活用率の向上
- データ分析レポートの作成

4 従業員の成長とスキル向上

- DX研修受講者数・受講率
- DX関連資格の取得者数
- DXスキルマップの作成および達成率

5 持続可能な社会への貢献

- CO₂排出量の把握
- 有給休暇取得率の増減による現状把握
- 地域イベントへの参加